

安全データシート  
ポントドライ 3A

作成日:2019年6月1日

改訂日:2020年10月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	ポントドライ 3A
製品コード	808-102-1、808-102-2
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
FAX番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	tokyo@falma.co.jp
緊急連絡先	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	病理標本作製時の脱水槽に使用するアルコール中の水分除去剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(呼吸器)
-----------	--

上記以外の項目は、分類対象外、分類できない又は区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	強い眼刺激 長年にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害
注意書き	
安全対策	粉じんを吸入しないこと。 取扱い後は手などをよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。 気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。
保管	容器を密閉し、乾燥した冷暗所に保管すること。

廃棄	内容物、容器を、関連法規に基づき適切に処理すること。
3. 組成及び成分情報	
単一製品・混合物の区別	単一製品
成分及び含有量	アルミノけい酸ナトリウム 90%以上
官報公示整理番号	
化審法	1-508、1-23
安衛法	公表
Cas No.	308080-99-1
4. 応急措置	
吸入した場合	直ちに新鮮な場所に移し、鼻をかませうがいさせる。
皮膚に付着した場合	特になし。
眼に入った場合	直ちに取り除き、水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
5. 火災時の措置	
消火剤	この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	特になし
特定の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	特になし
環境に対する注意事項	特になし
回収、中和	飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
注意事項	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。
保管	
適切な保管条件	吸湿性があるので、容器は密栓し、乾燥した冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度(2016版)	
日本産業衛生学会	設定されていない。
ACGIH	設定されていない。
設備対策	粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	特に必要ない。
手の保護具	特になし。
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	円柱状固体
色	淡褐色
臭い	無臭
沸点	データなし
融点	データなし
密度	データなし
溶解性	水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定。
反応性	安定な物質である。
避けるべき条件	特になし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験において、中等度の刺激性 みられ、刺激性の反応はいずれも7日以内に回復してい る(SIDS(2006)、DFGOT vol.56(2014))ことから区分 2。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトのデータは得られていない。

誤えん有害性  
 実験動物では、吸入経路では、サルを用いた6ヵ月間反復吸入毒性試験において区分1の範囲である1 mg/m<sup>3</sup>で肺のマクロファージ蓄積、細気管支炎と肺胞炎がみられている(SIDS(2006))ことから区分1(呼吸器)。  
 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

水生環境有害性(急性)

利用可能な情報はない。

水生環境有害性(長期間)

利用可能な情報はない。

残留性/分解性

微生物などによる分解性はない。

生態蓄積性

利用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令なし

国連分類

分類基準に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に際しては、直射日光及び湿気を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

非該当

---

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。